

# 佐賀県電子入札システム要件定義書

佐賀県 県土整備部 入札・検査センター

# 第1章 基本要件等

## 1.1 用語の定義

本要件定義書において、次に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1)「委託者」とは、本委託業務を発注する佐賀県 県土整備部 入札・検査センターをいう。
- (2)「受託者」とは、本委託業務を受託したものをいう。
- (3)「発注者（県）」とは、電子入札システムを用い、建設工事・物品等の入札業務を行うものをいう。
- (4)「受注者（建設業者等）」とは、電子入札システムを用い、建設工事・物品等の入札に参加するものをいう。
- (5)「システム管理者」とは、電子入札システムを管理・運営する佐賀県 県土整備部 入札・検査センターをいう。

## 1.2 システム構成

1. LGWAN-ASPサービスを活用したASP・SaaS方式による電子入札システムであること。
2. 一般財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）及び一般財団法人港湾空港総合技術センター（SCOPE）が設立した電子入札コアシステム開発コンソーシアムが提供する電子入札コアシステムを利用し、構築すること。
3. 佐賀県が保有する土木行政システム（工事管理システム及び業者管理システム）及び財務経営システム（物品管理システム及び業者管理システム）と連携し、データ入力 of 簡素化・効率化を図ること。
4. 電子入札コアシステム Ver. 6.0 R4 以上に対応すること。なお、本システム稼働に必要な電子入札コアシステムについては、委託者が提供する。これ以外のOS、ミドルウェア、ソフトウェアが必要な場合は受託者で調達、保守を行うこと。
5. 電子入札コアシステムのバージョンアップに迅速に対応できること。
6. 電子入札コアシステムが定める電子入札コアシステム稼働環境及びクライアント環境にて、発注者（県）・受注者（建設業者等）共に完全に稼働すること。
7. システム構築後においても、組織改正、制度改正、将来導入されるシステムとの連携などに備え、機能追加に柔軟かつ低コストで対応できる利便性と拡張性の高いシステムであること。
8. システム障害が発生した場合、長時間の業務中断等が発生しない安定性の高いシステムであること。
9. 操作時間を最短化するため、軽快なレスポンスが得られる高速性の確保されたシステムであること。
10. 各機能の操作方法が可能な限り共通化され、ヘルプが簡単に参照できるなど操作性に

優れたシステムであること。

### 1.3 発注者（県）の作業環境

発注者（県）の作業環境は、以下の仕様のパソコン等を委託者が用意するため、本仕様で利用できること。なお、OSのアップデート等の際は、委託者に対応方針を示し、協議の上決定すること。

仕様
• OS : Windows 11 Enterprise 23H2
• CPU : Intel Core i5-1145G7
• RAM : 8GB
• ストレージ : 238GB
• ブラウザ : Microsoft Edge
• ICカード読取装置 : 三菱電機インフォメーションシステムズ（株） MM-1900S
• 補助アプリ : Ver. 1.4
• LGPKIソフトウェア : Ver. 3.2.0

### 1.4 対応件数

直近の入札案件数は以下のとおりであり、これを上回る件数でも支障なく動作すること。

#### 【登録案件数】

- 令和5年度 約3,700件（工事・委託：約3,000件 物品：約700件）
- 令和6年度 約3,600件（工事・委託：約2,900件 物品：約700件）
- 令和7年度 約3,400件（工事・委託：約2,700件 物品：約700件）

## 第2章 共通機能に関する事項

### 2.1 入札形態

下表の入札方式に対応すること。

#### ○工事及び委託

入札方式	発注形態	種別
随意契約	見積合せ	
	単一随契	
指名競争入札	価格競争	
条件付一般競争入札	価格競争	事前審査
	価格競争	事後審査
	総合評価 ※1	事前審査
	総合評価 ※1	事後審査
公募型プロポーザル	単一随契	事前審査

※1 総合評価は、基準評価値及び評価値の計算を自動で行うこと。なお、現行の計算方法は以下のとおり。

$$\text{基準評価値} = \text{標準点} \times 10^9 \div \text{予定価格 (税抜)}$$

$$\text{※標準点} = 100$$

※小数点第4位以下を切捨て

$$\text{評価値} = \text{技術評価点} \times 10^9 \div \text{応札額 (税抜)}$$

$$\text{※技術評価点} = \text{標準点} + \text{加算点}$$

※小数点第4位以下を切捨て

#### ○物品

入札方式		発注形態
随意契約 (少額以外)	特定者	—
	複数参加	価格競争
	オープンカウンタ	価格競争
指名競争入札		価格競争
一般競争入札		価格競争

## 2.3 利用者登録・ログイン管理機能

電子入札システムを利用する発注者（県）・受注者（建設業者等）を登録、管理するための機能

1. 電子入札コアシステムが推奨する証明書検証方式を採用すること。
2. 現行システムの利用者登録情報（ＩＣカード登録情報）を移行できること。
3. 利用者登録情報は、工事業者・委託業者・物品業者で管理区別すること。
4. 工事業者と委託業者は、使用するＩＣカードを兼用できないこと。
5. 「工事業者と物品業者」、「委託業者と物品業者」は、使用するＩＣカードを兼用できること。
6. システム管理者は、成りすまし登録の排除などの利用者登録管理ができること。

## 2.4 調達案件の登録機能

入札案件情報を登録する機能

1. 工事及び委託の入札案件情報は、土木行政システムから連携できること。
2. 工事業者については、工事業務・委託業務の両方発注できること。
3. 物品の入札案件情報は、財務経営システムから連携できること。

## 2.5 指名業者・随意契約業者の登録処理機能

指名業者の登録、確認、通知等の処理機能

1. 工事及び委託の指名業者及び随意契約業者の登録処理は、土木行政システムから連携できること。
2. 物品の指名業者及び随意契約業者の登録処理は、財務経営システムから連携できること。
3. 指名・見積依頼通知書の備考欄には、佐賀県独自に登録した定型文を反映できること。
4. 指名・見積依頼通知書の一括発行・個別発行に対応できること。

## 2.6 入札参加届等の処理機能

入札参加届・提案書等の提出、受付、審査等の処理機能

1. 入札参加届等を一括ダウンロードできること。
2. 受付票の発行は、手動でできること。
3. 入札参加資格確認通知は、一括発行・個別発行に対応していること。

## 2.7 入札書（見積書）の処理機能

入札書（見積書）及び辞退届けの提出、受付等の処理機能

1. 工事費内訳書の一括ダウンロードができること。
2. 入札（見積）受付票は、自動で発行できること。

3. 入札締後は辞退届の提出を不可とすること。

## 2.8 開札の処理機能

入札書（見積書）の開札、落札者の決定等の機能

1. 入札書（紙）の入力、再入札（見積）処理、保留処理に対応できること。
2. 電子くじ引き処理機能（抽選機能）を有していること。また、受注者（建設業者等）が任意のくじ番号を入力できること。
3. 総合評価落札方式の評価値の算定に当たっては、自動計算機能を有すること。また、通常版と拡充版の選択ができること。
4. 工事及び委託の入札結果は、土木行政システムへ連携できること。

## 2.9 電子入札専用ホームページ機能

1. 電子入札専用ホームページは、佐賀県ホームページアクセシビリティ向上マニュアルに準拠し作成すること。
  - (1) HTTP S化に対応していること。
  - (2) SSL証明書の取得・更新等は受託者の負担にて行うこと。
2. 佐賀県の発注に係る受注者用ページを設置すること。
  - (1) 電子入札システムログインページへのリンクを設置すること。
  - (2) 入札情報サービス機能へのリンクを設置すること。
  - (3) お知らせ、注意情報、FAQ等の掲載ができること。
3. 発注者専用のホームページを設置すること。
  - (1) 電子入札システムログインページへのリンクを設置すること。
  - (2) 発注者用については、受託後の協議により委託者の既存のページにより代用できる場合は不要とする。

## 2.10 入札情報サービス機能

入札情報サービスについては、電子入札専用ホームページからリンクする方法とし、以下の機能を有すること。

1. 入札公告公開機能
  - (1) 電子入札システムとデータ連携できること。
  - (2) 1案件ごとに掲載できる設計図書等のファイル容量は30MB以上であること。
  - (3) 設計図書等の添付ファイルのダウンロードができること。
  - (4) 公開日を予約できること。
  - (5) 柔軟な案件検索ができること。（例：発注機関、入札方式、工種、等級別など）
  - (6) 各案件情報から電子入札システムの該当案件へアクセスできること。
2. 入札結果公開機能
  - (1) 電子入札システムとデータ連携できること。

## 2.11 その他

モニターサイズによらず画面全体に表示して使用できること。

## 第3章 追加機能に関する事項

### 3.1 案件進捗状況管理機能

入札事務の進行管理及びタスク管理を行うため、発注機関毎に入札案件の進捗状況（入札参加届締切・入札書締切・開札）が画面上で確認できる機能を有すること。

### 3.2 案件情報抽出機能

案件情報、参加業者情報、入札経過情報等を抽出できる機能を有すること。（データの保存期間は当該年度を含む3年間とする。）抽出方法については、佐賀県が電子入札システムで実施した任意の期間の案件を一括出力できる仕様であること。なお、本機能の代わりに委託者の指示の都度、受託者が抽出したデータを提供する方法も認める。

### 3.3 受注者へのメール配信機能

受注者へメール配信する場合は、以下の機能を有すること。

1. 工事と物品で内容の異なる署名情報を登録でき、発注者の連絡先を記載できること。
2. 電子入札システムからのメール送信に関して、指定したメールアドレスで送付できること。

### 3.4 検証機能

調達案件毎に、建設業者等名称、入札金額、入札結果公表時入札金額ハッシュ値の検証ができること。また、本機能は必要に応じ、非活性の設定も出来ること。

## 第4章 関連システムとの連携機能に関する事項

### 4.1 土木行政システム等との連携機能

電子入札システム（入札情報サービス機能を含む）は、土木行政システム（工事管理システム及び業者管理システム）及び財務経営システム（物品管理システム及び業者管理システム）と連携することで、「案件情報」、「業者情報」、「予定価格データ」、「入札結果データ」等の二重登録や誤入力の防止など業務の簡素化・効率化を図ること。なお、電子入札システムと土木行政システムは自動連携とし、連携に係る機器の調達（サーバ）は、土木行政システムで行い、連携方式はCSVとする。